



センターニュースをお読みの皆様へ

「リハビリテーション」と「ハビリテーション」

「リハビリテーション」は、ラテン語の「habilis：適合する」を語源とし「再び元の状態に戻す」ことをめざすものです。一方、重度心身障害児（者）の障害は先天性あるいは幼少時の事象によるものがほとんどで、めざすところは「元の状態」ではありません。その代わりに「能力を伸ばし、環境を整える」ことをめざします。これを「ハビリテーション」と呼ぶことがあ

ります。病態・機能障害は一人一人異なり、めざす目標もそれぞれ異なりますが、ご本人のできることを伸ばし、周囲の援助環境を整えることは共通しています。島田療育センターリハビリテーション部では、皆様により良い「ハビリテーション」を提供していきたいと思



リハビリテーション部
部長 高山 昌子

第
47
回

日本重症心身障害学会学術集会

を開催して

第47回日本重症心身障害学会が2022年12月1日、2日に東京お台場のTFTホールで開催されました。島田療育センターでの本学会の開催が決定された年がたまたま東京オリンピックの年と同じ年になる関係で開催時期を変更していただき、島田の次に予定されていた国立病院機構西別府病院（後藤一也会長）が第46回学術集会として島田の前に開催してくださいました（2021年12月10日、11日の2日間の開催）。そして今回第47回を島田が担当することになりました。



大会長 木実谷 哲史

この学会は第1回から12回まですべて小林提樹先生が会長として連続して担当され、今回島田がお引き受けしたのは35年ぶりのことでした。この3年間はコロナ流行の影響でどのような形で学会開催するかは各担当施設の大きな悩みでした。島田でも学術担当の有本副院長に準備委員会の筆頭となっただき、各部署からの代表でチームを作って学会の準備に取り掛かりました。当初は現場開催とWEBを併用するハイブリッド開催を考えましたが、次第に現場開催1本でやってみたいという空気が強くなりました。このような経緯で今回の開催は現場での発表だけでやることに決めました。

実際の準備に当たっては、東大和療育センターにある学会本部の倉田先生や事務担当の神田さん、学会運営担当としてお願いしたプロコムインターナショナル

の指示を受けながら行いましたが、島田としては現在の職員にとり初めての担当でしたからとても複雑で難しい仕事となりました。最終的に、会長講演、基調講演、特別報告、シンポジウム2題、教育講演5題、看護研究セミナー、ランチオンセミナー3題、市民公開講座、ファクションショーのほか一般演題として



学術集会ポスター

口頭講演が103題、ポスター発表が60題ありました。参加して下さった人数は608名でした。参加者からは、久しぶりに会員の方々と直接会って話ができてうれしかったという声が多く聞かれ、開催会場の至る場所で参加者が語り合う明るい顔が見られました。また会場での島田の職員の接遇に対してもたくさんのお褒めの言葉がありました。

毎日自分の部署の忙しい仕事をこなしながらの学会準備は大変だったと思いますが、立派な学会となり皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。4月の学会誌に掲載する推薦演題の印刷が最後の仕事として残っていますがよろしく願います。

（大会長 / 名誉院長 木実谷 哲史）



口演会場



ポスター会場

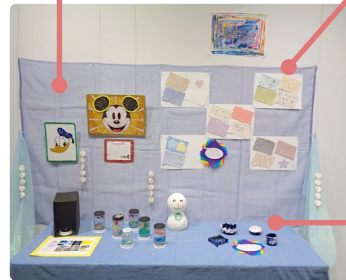
南大沢子どもミュージカル

12月18日(日)・25日(日)の二日間にわたって『南大沢子どもミュージカル』の皆様による映像コンサートを利用者様に向けた配信イベントとして実施しました。小学生から高校生の皆様によるミュージカル調の歌やクリスマスソング・ダンス有りの内容で利用者様に向けてのメッセージもいただきました。利用者様も年末の楽しいひと時を過ごすことができました。素敵なクリスマスのコンサート映像をありがとうございました。
(療育部療育長 川澄 敦)



ぱらあーと ～第32回多摩市みんなの美術作品展

ぱらあーと第32回多摩市みんなの美術作品展が開催され、リニューアルされたパルテノン多摩会場に利用者様の作品を出展しました。作品としては、ほととステーションの活動にて和紙で作ったはがきと陶芸活動の小皿・病棟内活動で作ったちぎり絵と遠足の制作時間に作ったアクアドーム…どれも個性あふれる素敵な作品でした。せつかくの作品展、早く戶外活動に出かけて見学できる日が来るのが待ち遠しいですね。
(療育部療育長 川澄 敦)



年末年始のお散歩スポット

2022年の暮れから2023年1月3日(火)までの期間を活用し、厚生棟の玄関ロビーにお散歩スポットを設けました。お散歩スポットには各病棟のイベントで活躍した装飾やゲームが集まり、達磨のスマートボールやユニークな象や鳥などの動物たち、アクアドームをテーブルに載せ、和風の鎧兜と門松を玄関に備えつつ利用者の皆様をお迎えするように準備を進めました。残念ながら、今年のお散歩は感染症のために参加できる病棟に限られる結果となりました。せめて、通りがかりの職員の目を楽しませてくれていたならば、出番があった甲斐があったと作品達が頷いてくれるような気持ちです。
(療育部療育長 清水 信夫)



恵泉女学園中学校

クリスマスの奉仕活動

2022年12月22日(木)恵泉女学園より中学生の生徒7名と引率教員2名の皆さんが「障がいを知り・理解していくこと～社会と私たち一人ひとりができること～」をテーマに奉仕活動を行いました。島田療育センターの紹介映像を視聴し、清掃活動を通して利用者様の人柄や生活を推し量ろうとする様子がありました。この機会が学生の感性を育み、地域の福祉に繋がる

可能性のあることを実感できる良い時間でした。恵泉女学園は世代を越えて、様々な形で島田療育センターや地域社会に対して福祉の想いを広げてきた伝統のある学び舎です。これからも若い世代に伝えていける場を持ちたいと願っています。

(療育部療育長 清水 信夫)



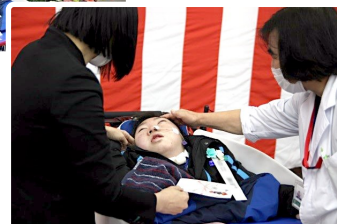
デイケアセンター

成人を祝う会

1月17日(火)に厚生棟にて「成人を祝う会」が行われました。デイケアセンターに通所されている利用者様の中で新成人となられた方は1名で、先輩利用者の方々に見守られる中、式典が開かれました。ネクタイをキリッと結ばれて成人らしい恰好で式に臨まれる姿はとてたくましく、もうすでに大人の自覚が芽生えているようです。お母様がお挨拶の中で「生後3ヶ月で病気がわかり、一年は生きられないと言われていましたが、20歳を迎えることができました。」としみじみと話されていました。ご挨拶に耳を傾けながら職員一同感慨深いものがありました。これから10年、20年…と未永

くデイケアセンターをご利用いただき、たくさんの思い出を重ねていただければと思っています。

(デイケアセンター 高橋 かおり)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？

このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

音読がたどたどしく、読み飛ばしも多くあります。漢字も中々覚えられないので、最近では読むことを嫌がるようになりました。どうしたらよいのでしょうか？



A

このようなつまずきの背景には、目を効率的に動かせない、物の形や向きを正しく捉えられないなど、目に関する問題が関係している場合もあります。目の運動や形の捉えが苦手だと、文章を読む際に行や文字をとばしたり繰り返したりすることや、漢字を似ている他の漢字に読み換えてしまうといったことが多くなります。このような場合に音読の練習を繰り返しやらせる

と、返って苦手意識を強くしてしまうとことになりかねません。まずは、見るべきものに視線を向けたり目で追ったりするといった眼球運動の力や、線の長さや傾き、形の大きさや向きなどを捉える空間認知の力を伸ばしていくことが大切です。当センターでは、読み書きの苦手さを抱えるお子さんに向けたビジョントレーニングに取り組んでいますので、気になった方はホームページをご覧ください。(公認心理師 足立 実)

目の体操教室
ビジョントレーニング



ビジョントレーニングの詳細はこちらからご確認いただけます。

寄付・寄贈のご報告

ご寄付 例年行われていた株式会社プリンセススクウェア様主催のクリスマスパーティは終了してしまいましたが、プリンセススクウェア様より 500 万円、税理士法人古田土会計様より 200 万円のご寄付を頂きました。引き続き島田療育センターをご支援下さり、誠に感謝いたします。



ご寄贈 島田療育センターを守る会様より、利用者様へは 12 月 10 日 (土) のクリスマス会のデザートとして、「ル・ジャルダン・ブルー」のクリスマス・ムースを頂きました。また、職員へは「ぐりーんぴーす工房」のクリスマス・クッキーを頂きました。毎年変わらぬご厚意に感謝いたします。



個人情報保護研修を開催しました

2022 年度の個人情報保護研修を 11 月 5 日～12 月 20 日の期間で実施しました。感染対策の観点からオンデマンド動画による実施とし、動画視聴後は課題レポートで理解度の確認を行いました。

今回は①外部での講義等のためのデータ持ち出し、②利用者様の記録と開示について、③診療記録の保管・管理のための規定の 3 点についての講義が行われました。日々利用者様の個人情報を取り扱っているというこ

とを再認識し、適切に扱いながら業務に取り組んでいければと思います。

(個人情報保護推進委員会 神田 水太)

テーマ1
外部で講義等をするためデータを持ち出す

【懸念】
③マルウェア
ウイルスを含むあらゆる種類の悪意のあるソフトウェアの総称

テーマ3
診療記録の保管・管理のための規定

【どんな規定 (ルール) でしょうか?】

- ① 診療記録管理責任者を定めます
- ② 診療記録の閲覧又は貸出しの目的を定めます
- ③ 閲覧又は貸出しを受けることが出来る人の範囲を定めます
- ④ 閲覧又は貸出しの手続きを定めます
- ⑤ 保管場所を定めます
- ⑥ 定めた内容は守る義務があります

おしらせコーナー



地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

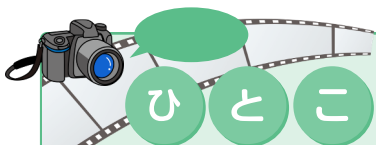
発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

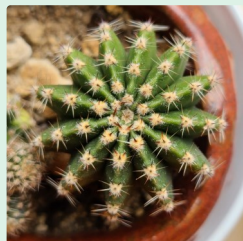
窓口は支援部 TEL 042-374-2101(直通)

費用は 無料です。お気軽にお問い合わせください。



ひとこと

療育部前のサボテンですが真上から覗き込むと花火のようで、横からの姿とは少し違って見えます。このサボテンはエキノブシス・オキシゴナ(旺盛丸)で薄いピンクの花が咲くそうですが、開花には数年かかるようです。ほっとステーションで販売をしているので、どなたか花を咲かせてみませんか?



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

